資料1－1、1－2の概要版（当日追加資料）

第9期　芽室町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の基本理念（令和6年～8年）

高齢者が慣れ親しんだ地域で暮らすために、お互いに支え合う地域共生社会の実現

	1　社会とのつながりが可能な心身の健康維持	2　何らかの支援が必要になっても今の住まいで暮らせる仕組み	3　重度化防止、自立支援に向けた介護基盤の整備
【目標】			
【背景】	（1）介護保険新規認定者の傾向から、介護予防は改善傾向にある （2）介護保険新規認定者のうち要支援・介護1認定者は72．1%を占める （3）新規要支援認定者の主な疾患は、関節疾患等の身体的フレイルが多い （4）新規要介護1認定者は、関節疾患等に加えて認知症の割合が増加する	（1）介護保険認定者になりやすい85歳以上の人口増と65歳以上人口の高齢化 （2）独居、高齢者夫婦世帯の増加 （3）ちょっとした手助けは、家族に頼みたいが、家族が出来ないときには介護保険等の公的サービスに期待がある （4）就労人口の減少で、生活に必要な細かな支援を行政や介護保険サービス事業者等だけで提供するのは難しくなる	（1）増加する高齢者に対して、介護職員不足が問題視されている （2）依然として全国・全道・近隣市町村と比較しても施設給付費が高い （3）現在も、わずかではあるが介護離職者が存在している （4）在宅介護を続けていく中で、サービス資源の整備はもちろん、介護支援専門員のケアマネジメントの力が必要
【方針】	①　社会参加 ア「住民主体の通いの場」や「町の介護予防事業」の継続 イ　社会参加が途切れた方へ働きかけ ②　心身の健康の維持 ア　家庭訪問対象者の拡大 イ　個々に応じた社会資源の紹介と支援が届いていない方への早期介入	介護が必要になっても住み続けられる環境づくり ア　高齢者福祉施策の継続 イ　住民による支え合い（例：除雪サービスなど）の促進 ウ　医療や介護保険サービスを円滑に利用できる体制	①地域特性や各種推計に基づく必要な介護保険サービスの提供 ア　少子高齢化の深刻化、感染症蔓延等を予測した介護保険サービスの検討 イ　介護人材の確保 ②介護保険事業の健全な運営 ア　介護給付費適正化事業の実施 イ　介護保険事業の普及啓発

第９期芽室町高齢者保険福祉計画・介護保険事業計画策定のためのアンケート調査【集計結果】

1 調査目的

「第９期芽室町高齢者保険福祉計画・介護保険事業計画」を策定するにあたり、高齢者の方々が健康で安心して暮らすことのできる長寿社会の実現に向けて、高齢者保険福祉施策を推進していくための基礎資料とすることを目的とする。

2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

（１）調査時期

・令和４年１２月から令和５年１月まで

（２）調査対象

・要介護１から５以外の６５歳以上の高齢者

（３）調査項目数

・全５７問

内訳　必須項目３５問 ＋ オプション項目６問 ＋ 独自項目１６問

（４）回収結果

	配布数	回収数	回収率
第９期	2,000	1,499	75.0%

・第８期調査の悉皆調査に対して、第９期調査は標本調査を実施

3 在宅介護実態調査

（１）調査時期

・令和４年１２月から令和５年１月まで

（２）調査対象

・在宅で生活している要支援・要介護認定者及びその家族等介護者

（３）調査項目数

・Ａ票（本人対象）　全６問

・Ｂ票（主な介護者対象）全４問

（４）回収結果

	配布数	回収数	回収率
第９期	260	149	57.3%

・第８期調査は、訪問調査員による聞取り調査を実施

4 調査結果報告書（別添参照）

Ⅰ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 ･･･ 2～62頁

Ⅱ 在宅介護実態調査 ･････････････････ 63～73頁

Ⅲ 調査票 ･････････････････････････ 75～90頁